

第4回 三重救急レジリエンス・システム研究会

患者の生命が危機に瀕している救急医療現場において、救急医療者には想像できないような精神的負担がのしかかります。我々はこのような現状を打破するには、高度のストレスにさらされても希望を忘れず折れない心(=レジリエンス)を、医療者のチームプレーでシステムチックに育む必要があると考えています。

今回は、私のように救急医でもほとんど小児を診ない医師にもわかりやすく診察するコツを含めてお話しいたします。

今回も研修医の先生に、多く参加いただければと思いますので、ぜひ来場して下さい！

三重大大学の研修医の皆さん(看護師さんで興味のある方も)
のご参加をお待ちしています

三重救急レジリエンス・システム研究会

代表世話人

三重大学 救命救急センター 教授 今井寛

三重大学地域救急医療リーダー育成センター 島岡要
事務局

三重大学 救命救急センター 助教 川本英嗣

日時 平成29年6月8日 18:00—20:00

場所 三重大学医学部

臨床第3講義室

講演

小児救急とは？

～苦手意識がなくなる初期診療～

小児患者の特性、バイタルサイン、primary surveyのコツについて

演者 伊原 崇晃 先生

東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部

救命救急科

司会 三重大学 救命救急センター 川本英嗣

要旨)

今回は若手小児救急医の伊原先生をお呼びし、小児救急についての基本事項を理解し、苦手意識を減らし、そして重症疾患を見逃さないためにバイタルサインとprimary surveyへのこだわりについてお話しいたします。

本件に関するお問い合わせ：
三重大学医学部附属病院 救命救急センター
川本英嗣 E-mail : a-2@umin.net

主催 三重大学地域救急医療リーダー育成センター
共催 MUECC 三重大学 救命救急センター
後援 NPO法人 MMC卒後臨床研修センター